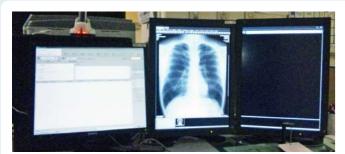
# 独立行政法人 地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター

院内スタッフに掛かる負担が軽減 STELLAR の導入により今までの作業時間の短縮を実現



# コスト・運用に見合ったシステム提案が決め手

健診システムの入れ替えに伴い画像の電子化を踏まえつつ、部門シ ステム導入のため他メーカのシステムも検討しましたが、運用面・コ スト面両方で満足いくものが見つからず困っていました。そこで紹介 してもらったのがアストロステージのシステムです。アストロステー ジからは当院の運用面に沿ったシステムを提案してもらい、将来への 期待も感じられたため導入することに決定しました。

#### 次へのステップアップが期待できるシステム

他のメーカではパッケージソフトとしての制約も多い上に使い勝手 も悪く、当院の運用に沿った機能がありませんでした。しかし、アス トロステージにはパッケージからフリーに直してもらえるということ でこちらの要望を受け入れてもらいました。特にレポートシステムに 関してはこちらの運用に沿った形でカスタマイズでき、これなら次へ のステップアップを期待できると将来を見据えた上で決定しました。

# 導入システム

📶 DICOM 画像管理システム Nazca

뿆 RIS システム

NazcaRIS

診療情報統合システム STELLAR

→ ドキュメント作成&管理システム STELLARReport

### フィルムレス運用で大幅なコスト削減が可能に なり受検者のエスコートもスピーディに

導入前はフィルムの現像、確認や所見の作成からフィルム自体の移 動も人を介して行っていたためとても時間がかかっていました。しか し、現在はフィルムに関する手間や時間外労働も無くなり、人件費な どの大幅なコストダウンにつながりました。例えば、導入前は心電図 の判読に関して事務の作業が終わらない限り技師側の判読が出来ず、 ひどいときには処理忘れなどで判読が遅れることもありました。しか し、今ではリアルタイムで判読が可能になったため、事務への確認作 業も不要となり結果的に業務の効率化が進みました。

また、リアルタイムで各部門の混み具合も把握できることで、時間 のかかる診察室へのエスコートも振り分けがスムーズにでき、受検者 をお待たせすることもなくなりました。



四日市羽津医療センター スタッフの皆さん



- ■患者情報の整理と様々な
- ■電子化による使用者へ掛かる



- ■様々な患者情報の表示により 作業効率が向上
- ■システムの簡便な操作性で 使用者の負担を軽減



### 四日市羽津医療センター:システム導入時期 / Apr 2010



#### 私たち四日市羽津医療センターは地域医療機能機構の一員として、 地域住民の健康増進ならびに高齢者福祉に貢献いたします。

当院は、平成26年4月1日より全国社会保険協会連合会による運営から、独立行政法 人地域医療機能推進機構が経営を行うこととなりました。それに伴い、四日市社会保険病 院から四日市羽津医療センターに病院名の変更を行いました。聞き慣れない名称かとは思 いますが、以前使用していました。

「羽津」を再び用いることで、より一層地域に根ざした医療を展開して行くべく、全職 員心を新たにしています。今以上に病診連携を強化し、地域包括医療の構築を目指し、地 域のニーズに応じた医療体制を構築すべく努力して行く所存でございます。今後とも何卒 よろしくお願い申し上げます。

所在地: 三重県四日市市羽津山町 10-8

病床数:235床

診療科:人間ドック・健診施設

# 今後の方針

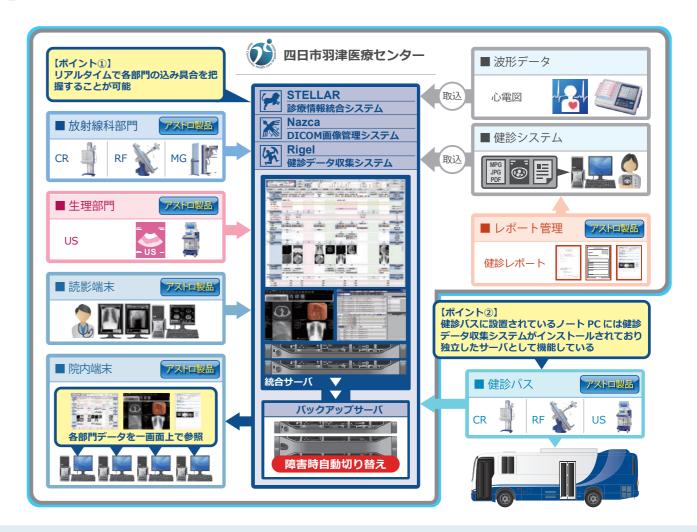
大きい事業所に対しては事業個別の医療指導ができるようなものを 作っていき、健診医療でフォロー出来るようなものを考えています。 それを基に細かな統計処理や各事業所とのコミュニケーションをはか り、次へ繋いでいきたいと思います。健診医療へのさらなる発展を目 指しています。

## 今後の期待・要望

エスコートのアプリケーションをもっと展開してもいいのではない かと思います。このエスコート機能は各健診センターにとって必要な 機能でもあり受検者・健診側にも多くのメリットをもたらすものと考 えています。また、現場の声を吸収し柔軟な対応力と積極性を持ち続 けてほしいです。



#### システム構成図



136 導入事例 四日市羽津医療センター 導入事例 四日市羽津医療センター 137